

【令和7年度 地域連携推進会議 次第】

開催日時：令和8年2月19日（木）14時～

開催場所：グループホーム ワンライフ平恒 ダイニングルーム

出席者：12名

- 1 開会・挨拶
- 2 自己紹介
- 3 グループホーム概要説明
- 4 運営・支援状況について
- 5 地域連携の状況について
- 6 意見交換
- 7 まとめ・閉会

【グループホーム概要】

1 事業所概要

- ・介護サービス包括型グループホームを3か所運営
- ・形態：シェアハウスタイプ 2か所
アパルトタイプ 1か所
- ・支援方針：利用者の自立を尊重した支援
- ・対象者：日常生活において一定の自立が可能な障がい者の方

2 職員配置・支援体制

- ・日中支援体制：7時～20時
 - ・夜間支援体制：22時～翌5時
- ※常時、職員配置体制ではありません

利用者の生活状況に応じた見守りや声かけを行いながら、自立した生活を尊重した支援に努めています。

【今年度の運営・支援状況】

1 入居者の状況（令和8年2月現在）

- ・ 定員に対する入居状況
明星寺ホーム：定員7名中5名入居
小正ホーム：定員4名中4名入居
平恒ホーム：定員10名中8名入居
- ・ 年齢層：20代～60代
- ・ 主な障がい特性：知的障がい、精神障がい、身体障がい等

2 日常生活支援

- ・ 生活全般に関する相談対応
例) 食事に関するご意見、ご要望があった際は、可能な範囲で献立や食材の工夫を行い、生活の満足度の向上に努めています。
- ・ 必要に応じた助言、見守り
例) 服薬管理が必要な利用者については、職員による声かけや確認等の見守り支援を行っています。
- ・ 関係機関との連携、情報共有
例) 相談支援事業所、就労支援事業所、訪問看護等と情報共有を行い、必要に応じて連携しています。

3 事故・トラブル等

大きな事故等の発生はありませんが、職員の利用者への接し方や基本的な挨拶等についてご意見をいただく事例がありました。現在は職員間で共有し、接遇面の改善に取り組んでいます。

4 虐待防止への取り組み

- ・ 虐待防止体制の整備
- ・ 職員への周知、研修の実施
- ・ 相談、通報体制の確保

5 防災・BCP・安全対策

- ・ 防災

年2回、利用者とともに防災訓練を実施しています。

また、ハザードマップを活用し、災害リスクや避難経路の確認を行っています。

- ・ BCP

職員がBCPに関する研修を受講し、災害時等に備えた体制整備を段階的に進めています。

- ・ 安全対策

見守りカメラや各居室にSOS呼び出しボタンを設置し、安全確保に努めています。

【地域連携の状況と課題】

- ・ 現在の状況

近隣住民や関係機関との必要に応じた連絡・情報共有

苦情・相談への適切な対応

- ・ 課題と今後の方向性

現在、地域との関わりは限定的な状況ですが、今後は地域関係者との関係づくりを継続的に進めていきたいと考えています。

また、地域のイベント等への参加についても、利用者の特性や希望を踏まえ、無理のない形で少しずつ機会を広げていければと思います。

【地域連携推進会議 意見記録】

会議日時：2月19日 14：00～

出席者

訪問看護ステーション しんしん：添田氏、北澤氏

相談支援員 Lea（レア）：野中氏

利用者様 ご家族代表：延永氏

利用者様 代表：河邊氏

（ワンライフスタッフ）

サービス管理責任者：田口氏

支援員、世話人：平塚氏、前川氏、野本氏、上野氏、松岡氏

エリアマネージャー：荒嶽氏

〈意見・助言〉

【訪問看護しんしん 添田氏】

現状の勤務体制として、

日勤：7時00分～20時00分

夜勤：22時00分～5時00分

となっており、20時00分～22時00分、5時00分～7時00分の合計4時間が空白時間帯となっている。

勤務体制上やむを得ない部分もあるが、その時間帯にトラブルが発生した場合の具体的な対応について確認したい。

【利用者家族代表 延永氏】

空白時間帯については、入所時に説明を受けており理解している。

現状の対応にも了承しているが、不安がないわけではないため、今後の対策や検討をお願いしたい。

〈今後の対応・改善の方向性〉

【グループホームの回答】

現状の勤務体制上、直ちに空白時間帯を解消することは難しい状況である。

シフト体制の変更には時間を要するため、現時点では確約できないが、当面の対応として以下の体制整備を進めていく。

- ・空白時間帯においても職員と確実に連絡が取れる連絡体制の整備
- ・連絡先を複数名分明示した連絡網の配布
- ・緊急時に速やかに駆けつけ対応ができる体制の検討・構築

今後も利用者の安全確保を最優先に、体制の見直しを継続的に検討していく。

〈まとめと一言〉

【荒嶽】

本日は貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

初めての開催となりましたが、関係機関およびご家族の皆さまから直接ご意見をいただくことの重要性を改めて実感しました。

今後も年 1 回以上、会議を継続的に開催することで関係者の方々からの意見を参考にグループホームの支援の質の向上、運営の改善に努めてまいりますのでご指導、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

※本記録は地域連携推進会議の記録として保存する・